

■平成29年第3回定例会（9月）一般質問通告

	通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	酒井年夫議員	1 農業振興について	(1)種子馬鈴薯の作付面積・確保について 本町のブランド品とも言われる種子馬鈴薯の生産者が離農すると同時に生産枠が返納され、他町村にほとんどが移り、結果的に本町の作付面積が減少していく現況である。1戸の作付面積について、生産組合の中で一定の上限を設け作付しているようであるが、生産者の努力で可能性を含めて、生産枠を減らさない算段ができないか検討、協議をすべきではないか。今後もこのような傾向が増えることが予想されるが、農業行政における種子馬鈴薯作付の将来的なあり方について、お伺いいたします。	町 長
		2 農業経営面積・規模のあり方について	農業のプロ集団である農業委員会として、幾寅地区の農家1戸あたりの経営面積を将来の畑作経営を継続させるために、どの程度の面積を所有することが必要と考えているのか。 また、幾寅地区における農地の賃貸での面積、戸数はどの程度あるのか、今後とも賃貸を中心に経営を考えてもらうのか、農業委員会としての基本的な考え方をお伺いいたします。	農業委員 会長